



2018年12月25日

各位

会社名 株式会社ベストワンドットコム
代表者名 代表取締役社長 澤田 秀太
(コード番号: 6577 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 経営管理本部長 小川 隆生
兼 経営企画部長
(TEL. 03-5312-6247)

新規事業（インバウンドクルーズ事業）の開始に関するお知らせ

当社は、2018年12月25日より外国人クルーズ旅行者向け多言語WEBサイト（PC・スマホ）を新設し、外国人向けインバウンドクルーズ予約事業（外国人向けクルーズOTA）を開始いたしますので、以下の通りお知らせいたします。

記

1. 事業開始の趣旨

当社は、クルーズ専門の旅行会社として13年の実績があり、「クルーズ旅行を通じて全てのお客様に初めての感動体験を」を理念に、予約サイト『ベストワンクルーズ (<https://best1cruise.com/>)』を運営しております。

『ベストワンクルーズ』は、世界中のクルーズチケットをラインナップする豊富な商品数(約410船21,000コース、2018年12月時点)、船会社とのAPI連携により空室・料金が表示される予約サイトのUI/UX、専門性の高いオペレーターによる提案・案内、などを強みに多数のお客様にご利用いただいております。

国土交通省の発表によりますと、日本人のクルーズ旅行者数は2017年に31.5万人(前年比27%増)と過去最高を記録するなど、国内需要も拡大傾向にある一方、中国を中心としたアジア市場、また、日本へのインバウンドクルーズ人口も2017年に253.3万人(前年比27%増)となるなど、それを上回る規模の成長を見せております。

ただ、比較検討や予約を行う導線・経路は、従来の店舗型旅行代理店が主となり、WEBならではの検索利便性や豊富なラインナップを、旅行者に提供するサービスは見受けられません。

当社は、クルーズ専門のOTA（オンライントラベルエージェント）として、現在よりさらに大きな、アジア及びグローバルマーケットに進出することを目的に、サイトの多言語展開を進めることを決定し、時期未定ではありますが、今期のテーマ施策として決算説明資料等でお伝えをしております。

この度、多言語サイトを正式リリースし、サービスを開始いたしますのでお知らせいたします。

2. 『CruiseBookJapan』の概要

新設するサイト名は『CruiseBookJapan』(<https://www.cruisebookjapan.com/>)とし、日本語、英語、中国語（簡体）、台湾語（繁体）、韓国語、インドネシア語、タイ語、ヒンドゥー語（インド）によるサイトを8か国語で同時リリースいたします。

PC画面でもご覧いただけますが、近年のユーザー利用状況を鑑みて、スマートフォンでの表示に最適化されたレイアウトとなります。

まずは当社の強みを発揮しやすくマーケットも成長フェーズにある、日本発着（外国船・日本船）クルーズに特化し、上記言語にて情報発信と予約受付を行います。

今後中長期的には、海外現地発着クルーズの商品も順次投入、リリースを計画しております。

WEBサイトの多言語展開を開始いたしますが、海外拠点は設置せず東京本社で運営を行います。

今後、ユーザーの利用状況に応じて、対応言語の追加開発、グローバルマーケティング、細かなサイトUI／UX改善やローカライズを行い、外国人クルーズ旅行者にとっても使いやすいサービスとなれるよう、改善・改良に努めてまいります。

3. 今後の見通し

今期の当社連結業績に与える影響につきましては、現段階においては軽微であると考えておりますが、今後、開示の必要が生じた際には、その内容を速やかに開示いたします。

以 上